～宮大生のための交換留学～

台湾/台北　国立政治大学留学報告

教育文化学部・研究科　人間社会過程言語文化学科・課程・専攻　3 年　（谷　麻里衣）

〇留学先：台湾/台北　国立政治大学

〇留学期間：2010 年 09 月～2011 年 08 月(前期 09 月～02 月、後期 03 月～08 月)

〇渡航時の学年：　　3 年次

〇渡日前の手続について

・留学に至った経緯について：

もともとアジア方面に興味があったのですが、学科は欧米系が専門のため、台湾で生活し語学や文化にじかに触れようと思い留学を決意しました。

・大学での手続について：

政治大学への手続きは事前に必要書類を記入し送り、渡航後寮や、語学センター、保険料金などの支払いが必要です。国際センターの Melody さんが、英語または中国語で随時質問を受け付けているので、不明な点はすぐに解決してもらえます。

・査証取得：

国内ではまず、Web 上で書類をダウンロードし、必要要項を記入後、福岡にある台湾駐在所を尋ね査証の手続きをしてもらえます。通常 2 日以上かかりますが、追加料金を払うと当日取得することができます。また、最近は航空券をセットに JTB など代行手続きをしてくれる旅行会社もあるます。台湾では、小南門(xiaonanmen)にある移民署に書類を提出し、査証(居留証)を発行してもらいます。日本語ができるスタッフもいるため、言語面での心配はありません。

〇　留学体験記：

①　寮・ホームスティについて

政治大学では、交換留学生に 4 人部屋の寮を準備してくれます。台湾人、その他外国人等等国際色が豊かです。寮費は毎学期 8,000 元(約 25,000 円)で室内には、ベット・クローゼット・机・本棚・エアコンが備え付けられています。キッチンはありませんが、給水器やバスルーム、トイレ、洗濯室は各フロア 4 箇所あり、共同で使うことができます。

私の場合、前期は寮で生活し、後期は台湾人の家庭でホームスティとしてお世話になりました。上は約 70 歳、下は 4 歳と年齢層広い方々と生活できたことで、台湾をより身近に感じられただけではなく、授業では扱うことのない様々なことを勉強させていただくことができました。

②　食事について

台湾人の学生は三食ほぼ全て外食です。学内のカフェテリアだけでなく、学校周辺にも沢山の飲食店が連なっています。日本人にとって料理は少し油っぽく、飲み物はとても甘く感じます。そのため「油少な目」や「無糖」などの中国語を覚えておくと便利です。果物は南国と言うこともあり、年中店先に並んでいます。宮崎名物のアップルマンゴーも台湾では1つ 200 円なので、マンゴー尽くしの至福のひと時を送れます。

③　授業について

政治大学語学センターでは毎日 3 時間の授業のほか、毎学期 1 ヶ月間台湾語・カラオケ・書道な

ど選択科目を受けることができます。日常の授業はレベル毎に1クラス1～10人で、教科書をベースに単語・文法・討論などを勉強していきます。課題やスピーチは先生によって内容・量共に様々です。
政治大学での授業は英語開講もあり、単位が必要な場合台湾学生同様の課題やテストが課せられます。単位を必要としない場合は、聴講という形式で参加することができます。自分の学科以外の授業で単位を取得する場合、学費を自分で払う必要があるので注意してください。

〇帰国後について

・派遣先で単位を取得しましたか？（　しなかった　）
・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（　されなかった　）

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

留学を考えている方、海外に興味がある方に、私は是非留学を勧めます。ほとんど中国語ができず、英語もそこそこの私は、渡航初日からハプニングの連続で何度もくじけそうになりました。しかし、そんな私を沢山の台湾人(日本人を含めた外国人)が助けてくれ、彼らの優しさに触れ、いい意味で成長することができました。留学経験上私が皆さんに1番伝えたいのは、『ムリ(無理)』と思わないことです。「中国語できないからムリ」「臭豆腐ムリ」「あの人怖そうだからムリ」と全て否定するとせっかくのチャンスを台無しにしてしまします。挑戦してみたら、日本では見つからない意外な発見があるかもしれないし、周囲の人もきっと手助けしてくれます。もちろん感謝の気持ちや道徳心・台湾の基礎的な知識などは必要ですが、私はそれらに加え上記のような心構えを大切にしてもらいたいです。